



会津大学 後援会だより

第 28 号

発行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）

発行日：平成 24 年 8 月 10 日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515 (FAX0242-37-2526)

URL：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ

会津大学長

角 山 茂 章

と Google ストリートビュー、Google マップを組み合わせて開発したもので、ハンドルを操作するジェスチャや音声で運転モードが切り替えられるといった機能がある。この作品は「ビジネスの実現性が高い」と評価されるビジネス賞の金賞と、来場者の投票から選ばれるオーディエンス賞の金賞を受賞した。

また、博士後期課程学生も、IEEE Japan Chapter of Engineering in Medicine and Biology Society（※）が若手会員を対象とする論文コンペティションで特別賞（震災に伴う特別枠）を受賞した。深部体温の計測に関する論文で、実用性が高く、既に使ってみたいという要望が医学会から寄せられている。今年 2 月には、東日本大震災からの「復興・再生・発展」を実現する新しいビジネスのアイデアを競うコンテストで、会津大学チームが提案する Facebook のアプリケーションがイノベティブ・アワードを受賞した。このコンテストは米国大使館／東京アメリカンセンター（TAC）と慶應義塾大学 SFC が主催。主に被災地域の大学生を対象として、復興には、新たな手法と自らのアイデアで問題を解決しようとする若い人材の育成が必須ということで、ビジネスプラン作成のトレーニングセミナーとコンテスト形式で行うプレゼンを経験することにより、学生の起業家精神と実践力を高めることを狙ったもの。

一方、5 月には、モスクワで情報セキュリティに関する国際フォーラム「Positive Hack Days 2012」に、会津大生 2 名を含む日本の学生チームが初めて参加し、「Capture the Flag」（CTF）で 9 位に入賞した。CTF はサイバー攻撃に対する実践的なセキュリティ技術を競うコンテストで、チーム対戦型で行われる。各チームには予め脆弱性を含んだサーバが与えられ、その脆弱性を発見し、自分のチームのサーバを防御しながら、相手チームのサーバを攻撃して、その中の機密情報を取り出すことで点数を競う。今年 2 月に東京大学、東京工業大学、東京電機大学の学生とチームを結成し、本学 4 年生の金子正人君がリーダー役を務めた。セキュリティ関連企業の技術者など、その分野の専門家によるチームが多い中、学生だけのチームが海外の CTF に参加するのは初めてだが、大変良い結果を残した。

震災後一年半が経過しようとし、社会には様々な傷跡が残っているが、大学にとっては学生の活躍がもっとも元気を取り戻す良薬だ。今後とも、若い人が活躍する元気のある大学を目指したい。

※IEEE とは、アメリカ合衆国に本部を持つ電気・電子技術の学会である。対象とする分野は電気工学を源流とする通信・電子・情報工学とその関連分野に及ぶ。専門分野ごとに 39 の Society と称する分科会を持ち、それぞれに会誌（論文誌）を発行している。



後援会会長 あいさつ

会津大学後援会会長

齋 藤 幸 子

会津大学は平成 5 年に、日本初のコンピュータ理工学に特化した大学として開学し、まもなく 20 年目を迎えようとしています。歴史と文化、そして人情の厚い城下町会津若松市に立地していますが、大学内は外国人教員と留学生で国際的教育の場となっております。

本学のある福島県は東日本大震災後の被害に加え、原発事故の影響により多くの県民が避難を余儀なくされております。今年は復興元年と位置づけられていますが、厳しい状況が続いております。このような時だからこそ本学学生にはグロー

バルに活躍できる力を習得し、会津から世界に羽ばたいていただきたいと思っております。

会津大学後援会は、大学における教育の拡充発展、学生の教養向上、福利厚生などの援助を図るために設立されました。これまで、朝食定期券の補助、クラス活動費の補助、就職活動交通費補助、TOEIC テスト支援などを実施してまいりました。私も後援会の活動に携り、これらの後援会の事業が学生生活の経済的負担を軽減したり、学生生活をより充実させたりすることを実感いたしました。

本年度はこれまでの支援に加え、「就職活動宿泊費補助事業」、「ボランティア活動費補助事業」を新規事業として行います。就職活動で大きな負担となる宿泊費を補助したり、授業だけでは得られない社会性を身につけたり、様々な人たちと協働活動ができる環境作りを行い、より一層の支援を実施してまいります。

これからも、大学と連携しながら学生にとってより良い支援を実施してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年度会津大学後援会活動について

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しております。

平成 23 年度決算及び平成 24 年度事業計画・予算につきましては、4 月 3 日に開催しました平成 24 年度後援会総会において下記のとおり承認されました。

<平成 23 年度後援会決算>

(単位：円)

	科 目	決 算 額
収 入	会費	12,600,000
	雑収入	1,106
	バス利用料	379,000
	繰越金	4,123,526
	計	17,103,632
支 出	会議費	96,710
	事務費	483,523
	事業費	12,253,709
	学生課外活動助成費	7,000,000
	厚生及び進路対策費	4,881,949
	研修等助成事業費	180,760
	スキルアップ奨励事業費	191,000
	記念事業積立金(次年度繰越)	500,000
	予備費	0
	計	13,333,942
	繰越金	3,769,690

<平成 24 年度後援会予算>

(単位：千円)

	科 目	予 算 額
収 入	会費	12,800
	雑収入	10
	バス利用料	250
	平成 22 年度繰越金	3,769
	計	16,829
支 出	会議費	150
	事務費	500
	事業費	13,800
	学生課外活動助成費	7,000
	厚生及び進路対策費	5,800
	研修等助成事業費	400
	スキルアップ奨励事業費	600
	記念事業積立金(次年度繰越)	500
	予備費	1,879
	計	16,829

平成 24 年度会津大学後援会役員

役 職	氏 名	住 所
名誉会長	角 山 茂 章	会津大学長
会 長	齋 藤 幸 子	福島県福島市
副 会 長	木 伏 幸 蔵	福島県会津若松市
〃	長谷川 賢 治	福島県会津若松市
監 事	山 口 千代志	福島県耶麻郡西会津町
〃	伊 藤 俊 也	福島県会津若松市
委 員	橋 本 修 一	福島県郡山市
〃	遠 藤 久 男	福島県会津美里町
〃	上 野 善 弘	福島県耶麻郡西会津町
〃	菅 智 子	福島県河沼郡会津坂下町
〃	三 浦 和 紀	新潟県村上市
〃	奥 山 和 則	福島県会津美里町
〃	加 藤 純 雄	福島県郡山市
〃	加 藤 知 子	福島県いわき市
〃	永 峯 ひろみ	福島県会津美里町
常任委員	長谷川 哲 也	会津大学事務局長

平成 24 年度会津大学後援会事業計画

(年 月 日)

(主な事業の概要)

平成 24 年 4 月～3 月	TOEIC テスト支援
平成 24 年 4 月～3 月	就職活動交通費、宿泊費補助
平成 24 年 4 月～3 月	ボランティア活動費補助
平成 24 年 4 月 3 日	後援会総会及び第 1 回後援会役員会
平成 24 年 4 月～7 月	朝食定期券の補助
平成 24 年 4 月～3 月	クラス活動支援
平成 24 年 4 月 15 日	情報技術者処理試験送迎バス運行
平成 24 年 8 月	後援会だより(第 28 号)発行
平成 24 年 7 月～9 月	学生会・学園祭実行委員会への助成
平成 24 年 10 月 6 日	第 2 回役員会
平成 24 年 10 月 6 日	会津大学報告会、各種相談会
	就職講演会
平成 24 年 10 月 21 日	情報処理技術者試験送迎バス運行
平成 25 年 3 月	後援会だより(第 29 号)発行
平成 25 年 3 月	第 3 回役員会
平成 25 年 3 月	卒業記念パーティ

e-learning システム導入

就職活動で活用できる資格取得、将来に向けてのキャリアアップとして後援会では TOEIC テスト支援と情報処理技術者試験の支援を実施していますが、それに加えて会津大学では 7 月より TOEIC と情報処理技術者試験の対策として e-learning システムを導入しました。e-learning システムではインターネット環境が整っていれば、学生はどこでも気軽に TOEIC と情報処理技術者試験の学習をすることができます。

e-learning システムを有効に活用して、会津大生にはさらなるキャリアアップを目指してほしいと願っています。

会津大学開学 20 周年記念事業について

来年度に予定されている開学 20 周年記念事業の実施に向けて同事業実行委員会が学内に設置され、後援会長が委員会メンバーとして加わりました。今後、後援会の実施計画を年度内にまとめて行きたいと考えております。そこで、会員の皆様から記念事業に対するアイデアを募集いたします。ご意見、ご提案をお待ちしております。(連絡先 学生課学生支援係 電話 0242-37-2515 FAX 0242-37-2526 e-mail:cl-health-welfare@u-aizu.ac.jp)

学内ニュース

平成 23 年度学位記授与式 ～自信を持って未来へ～

平成 23 年度学位記授与式が 3 月 23 日(金)に行われました。今年度、コンピュータ理工学部から 221 名が卒業し、大学院コンピュータ理工学研究科においては博士前期課程 51 名、同後期課程 4 名が修了しました。

角山茂章学長は卒業生総代の高宮裕輝さん、修了生総代の対馬孝弘さんに学位記を授与。式辞で「会津大学という恵まれた国際的環境で情報技術のみならず、国際的な文化を学んだ皆さんは、常に変化し続ける社会に対応できる知識と力が身に付いている。自分の未来に自信を持って頑張ってもらいたい」と激励の言葉を贈りました。

卒業生は学位記授与式の後、記念撮影に臨み、後援会主催の卒業パーティでは教員や友人と思い出を語り合いながら会食を楽しんでいました。福島県内の企業に就職する角田健人さんは「友達との別れはつらいが、同期生に負けない気持ちで頑張っていく」と話しました。



平成 24 年度入学式 ～教員との交流を大切に～

4 月 3 日(火)、平成 24 年度会津大学入学式が行われ、コンピュータ理工学部で 256 名、大学院コンピュータ理工学研究科で 68 名が、情報技術と国際性を身に付ける新たな学生生活をスタートしました。

入学式では新入生全員の名前が読みあげられ、角山茂章学長が入学許可を宣言すると、「最先端の研究(Top)に学生が参加して技術を体得する(Down) 会津大学の『Top Down 教育』の下、教員との交流を深め、勉学に励んでほしい」と式辞を述べました。

学部入学生過半数が福島県内の出身者ですが、昨年に続き、日系 IT 企業の進出が続くベトナムのハノイ工科大学から 5 名が 3 年次に編入。また、4 年ぶりの早期入学で田茂井圭祐さん(京都出身)が入学したことが話題です。田茂井さんは「少しでも早く学びたい気持ちから飛び級を目指した。社会を支えるシステムの開発がしたい」と抱負を話しています。



新入生オリエンテーション ～新たな友とともに～

新入生の大学生活への円滑な導入のため、授業が開始される前に新入生オリエンテーションを実施しました。昨年度、震災の影響により中止した宿泊オリエンテーションですが、今年実施することができました。(4 月 5 日～6 日「国立磐梯青少年交流の家」宿泊)

新入生は初めての大学生活を迎え不安をかかえる中、レクリエーションやクラスミーティングを通して新しい友達ができていたようでした。



在学生表彰

平成 23 年度の成績優秀者に表彰状が贈られました。会津大学では GPA (Grade Point Average) による成績評価を行い、各学年においてその数値の高い者から 2 ～ 3 名が成績優秀者に選ばれました。

〔受賞者一覧〕

学 年	氏 名
2	北澤拓也、四家妃夏利
3	澤井秀仁、平野雅、遠藤和樹
4	岩淵康平、伊藤悠哉、常盤恭樹

平成23年度進路結果について

会津大学では、平成 23 年度卒業者の就職内定率が前年同期差 3.3 ポイント増の 94.5 % となりました。震災の影響により大企業の採用試験が 2 ヶ月程度遅れましたが、最終的には前年度を上回る数値となりました。

文部科学省が発表している全国就職内定率は、前年度同期差 2.6 ポイント増の 93.6 % となっており、前年度を上回る結果となっています。

平成 23 年度進路決定状況

		進路希望	決定者
就職	民間企業	133	125
	教員	6	6
	公務員・団体等	4	4
	起業・家業	3	3
	合 計	146	138

		進路希望	決定者
進学	本学大学院	63	63
	他の大学院	7	7
	海外の大学院	0	0
	合 計	70	70

※平成 24 年 5 月 31 日現在

主な就職先

【県外】

楽天、村田製作所、サイバーエージェント、日立システムズ、大日本印刷、日本精機、日本デジタル研究所
J R 東日本、野村證券、みずほ情報総研、三菱電機、NTT コミュニケーションズ、群馬銀行、コーソル、さくら KCS

【県内】

シンク、福島キャノン、富士通テレコムネットワークス福島、富士通アイソテック、日本工営 福島事業所、シグマエフコム、アルパイン技研、白河オリンパス、G Clue、東風マネジメント、ムネカタホールディングス

会津大学の海外研修支援事業

平成 18 年度から海外研修支援事業を開始し、これまで合計 34 名の学部・大学院の学生が 5 か国 10 大学で研修を行ってきました。また、平成 23 年度は JASSO (日本学生支援機構) の新たな奨学金に採択されたこともあり、例年よりも多くの学生が海外で研修する機会を得ることができました。この研修では、海外大学での授業聴講や研究活動を通して、IT 等の専門知識だけでなく異文化への理解も深めています。会津大学では今後も、海外に興味のある学生を積極的に支援していきます。

<研修報告>

平成 23 年度研修実績

研修先：ローズハルマン工科大学 (米国)

山本 脩太さん (写真右)
(ローズハルマン工科大学)



	研 修 期 間	研修学生 (派遣時学年)
海外中期派遣	平成 23 年 8 月 30 日～11 月 29 日 (約 3 か月)	山本 脩太 (学部 4 年)
	平成 23 年 11 月 26 日～平成 24 年 2 月 27 日 (〃)	塩沢 京平 (学部 3 年)
海外短期派遣	平成 24 年 3 月 4 日～3 月 26 日 (約 3 週間)	須田 亮平 (学部 3 年)
		澤井 秀仁 (学部 2 年)
		大野 綾香 (学部 1 年)
JASSO 奨学金		田口 諒 (学部 3 年)
		橋本有里香 (学部 2 年)
		吉田 基人 (学部 2 年)

今回の留学では語学力や専門知識はもちろんのこと、視野を広げることも目的としていました。単に海外の文化や異なる価値観を知るだけではなく、日本を違った視点から見つめ直したいと思っていました。留学中にたくさんの人と話していく中で、今まで意識することがなかった日本の良い面と悪い面の両方が見えてきました。グローバルに活躍するためには語学力に加えて広い視野の獲得も大切だと改めて感じました。悪い面は改善しつつ、良い面はもっと世界に発信していきたいです。

学生の活動紹介

～このコーナーは、学生が自分たちで書きました～

学生会活動紹介

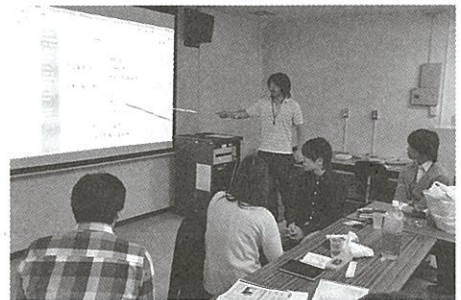
こんにちは。会津大学学生会長の保坂です。

私たち学生会執行部は、学生の大学生活を充実させるため日々活動しています。この場を借りて、学生会執行部の活動について紹介させていただきます。

他大学訪問

会津大学は京都外国語大学と交流協定を結んでおり、数年前には学生会長を中心としたチームで実際に訪問を行ったこともありましたが、昨年度からは学生会執行部が行っている他大学訪問という取り組みをこのような協定にとらわれず、より広く様々な大学と交流を持ちたいという考えから、国際教養大学、福島大学、筑波大学の計3大学に訪問しました。その成果を学生会則の改正に活かすことができました。

今年度に関しては、一般の学生会員を含めて広く訪問希望者を募り、より規模の大きい有意義な訪問を行なっていくことを目標に現在計画を立てています。「学生の大学生活を充実させる」という学生会の基本的な活動目的の下、執行部員一同真剣に取り組んでおります。



〈 福島大学訪問 〉

地域貢献

このプロジェクトは会津大学生と地域の交流が薄いこと、会津大学は他の大学よりもボランティアへの意識が低いことを問題視したことから始まりました。

今年度は地域のお祭りに参加したり、会津大学についてより知ってもらうためのPR動画作成、地域商店街のweb上でのPR、また地域の既存のボランティア団体と協力し、会津大学生の地域交流の先駆けとなるようなプロジェクトを実施していく予定です。プロジェクトを通じて会津大学のイメージアップや、今後、地域との交流の起爆剤となるような活動をしていきたいと思います。



〈 ミーティング風景 〉

学園祭実行委員会

私たち学園祭実行委員会は10月6日(土)、7日(日)に開催する蒼翔祭に向けて準備を行っています。

今回は、現在予定している企画を紹介したいと思います。

☆ 企画紹介 ☆

【ステージ企画】

- サークル対抗○×クイズ ○ コスプレ大会 ○ スター決定戦 ○ 対バン
- 和太鼓演奏 ○ 大抽選大会 ○ 大声大会 ○ 東邦美郷さんの出演

【多文化スペース】

- 串鶴 ○ ケバブ ○ B級グルメ ○ ケータリングカー
- お茶会・体験工房

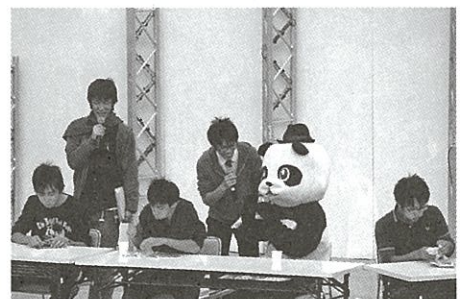
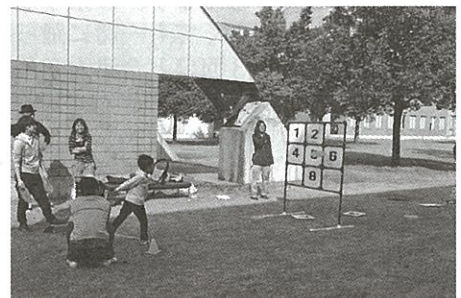
【その他】

- ふわふわキビタン ○ フリーマーケット ○ スタンプラリー ○ 花火
- 射的 ○ ポスターショウ

多文化スペース企画は、去年の反省を生かし、より良い企画を計画しています。新企画も盛りだくさんで蒼翔祭を盛り上げていきます！

今年も、今までとは一味違った蒼翔祭を創っていきます。

ご期待ください!!



サークル紹介

会津大学吹奏楽団

こんにちは、吹奏楽団です。吹奏楽団では、学内での演奏を主な活動としています。また、学祭での演奏を定期演奏会と位置づけをしてよりいっそう力を入れています。今年は学内だけにとどまらず学外での演奏を予定しており、活動の幅を広げています。人数が少ないためできる曲などは限られてしまいますが、その中で自分たちがやりたいことをやりたいように行い、とても楽しく活動しています。

春には京都外国語大学との交流会が行われます。京都外国語大学は団員も多く、技術面もすばらしいものを持っています。そのため私たちは、会津大学だけではできない曲を演奏できたり、上手な人と一緒に演奏できたりと良い刺激を受けられる機会となっています。また、演奏だけでなく京都外国語大学の方々と仲良くなることや、京都観光に行けるなど様々な楽しみがあります。このような交流会がなければなかなかできないことなのでとても良い機会を持たせていただいていると感じます。

今年は演奏だけでなく、もっと吹奏楽団の中での交流を深められるイベントを考えています。演奏をする楽しさを大学で改めて実感しつつ、演奏以外の楽しみも味わえるような活動を目指していきたいと思います。もし、機会があれば吹奏楽団の演奏を聴いていただきたいと思います。



よさこい部

こんにちは、会津大学よさこい部です。

「よさこいって何？」ほとんどの方はそう思っていますよね。私たちもそうでした。部員の大多数は未経験者です。よさこいとは鳴子と呼ばれる楽器を持ちながら、地域の民謡を取り入れた曲で踊る日本の伝統的な踊りのことです。曲にはそれぞれチームごとに作り上げたオリジナルの曲と、総踊りと呼ばれる全国共通の振り付けがされているものがあります。お祭りなどでは、オリジナル曲だけでなく総踊り曲を踊ることによってよさこい仲間はお互いが知らなくても一緒に踊って楽しむことができるのです。

練習は週に2～3回ほど会津大学体育館や会津短大体育館で行っています。私たちの目的は踊りが上手になることではなく、楽しむことなので練習も厳しくなくてとても笑顔あふれる時間を過ごせています。

私たちはこのよさこい踊りを通して、会津若松市を中心とした地域を盛り上げようと積極的にイベントやお祭りなどに参加したり、障害者福祉施設や老人福祉施設などの様々な施設を訪問させていただいて、みなさんに元気と笑顔を届ける活動をしています。また、全国各地で行われるよさこい祭りにも参加していて、たくさんのお客様の前でステージで踊ることもできたりしています。そうした活動の中で出会う地域の方々や他大学のよさこい仲間と深い交流ができます。一年中幅広く活動でき、色々な方との出会いもありとても楽しいです。



会津大生が活躍～ハッキング世界大会で入賞

5 月 30 日から 2 日間、ロシアの首都モスクワで開催された情報セキュリティに関する国際フォーラム「Positive Hack Days 2012」で、会津大生 2 名を含む日本の学生チームがセキュリティ技術を競うコンテスト「Capture the Flag」(CTF)に参加し、9 位に入賞しました。

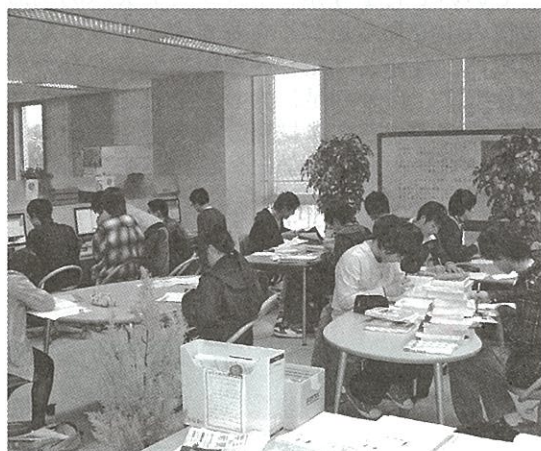
会津大学の金子正人さん(学部 4 年)、羽生凌太さん(学部 2 年)は今年 2 月に東京大学、東京工業大学、東京電機大学の学生とチーム「Tachikoma」を結成。セキュリティ関連企業の技術者など、その分野の専門家によるチームが多い中、学生だけのチームが海外の CTF に参加するのは初めてのことで、特別に出場が認められました。

2 日に亘る競技は全 12 チームで行われ、予選を通過した世界各国の強豪を相手に 9 位と健闘しました。(写真:競技会場で賞状を手に記念撮影する羽生さん(左)と金子さん)



|修|学|支|援|室| Office for Learning Support

修学支援室は、学生が自由に勉強できる場所として研究棟に設けられています。今年も、新入生をはじめ多くの学生が修学支援室に訪れています。修学支援室にきた学生は、宿題や演習問題などを、常時待機している修学支援員や大学院生・学部生による TA・SA に質問することができます。その他にも、ワークステーションを使ったプログラミングの演習課題や iPad を使ったネット検索、図書の閲覧など、様々な目的のために利用しています。また、修学支援室には多くの教科の過去の期末試験問題などが置いてあり、学生はそれを利用して勉強することができます。さらに、セルフサービスでお茶やコーヒーを飲むことができ、勉強の合間に息をつく学生もいます。積極的に勉強する学生の姿が印象的です。



来室のべ学生数

(単位:人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計	平均
2010	671	728	691	728	177	63	530	573	394	552	157	19	5,283	440
2011	12	777	767	492	420	86	272	273	196	226	51	16	3,588	300
2012	760	571	421	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

コミュニケーションスキルトレーニング

2月7日、他者との円滑なコミュニケーション能力の向上を目指し、コミュニケーションスキルトレーニングを開催しました。

講習を通して、自分の気質をチェックしたり、聞く能力についての知識を深めたりしています。また、実際に演習を行いながら、相手の話している内容を理解するためのリスニング能力や聞く態度、そして、自分の話したい内容を伝える能力等を磨きました。



修学支援室

電話 0242-37-2758 FAX 0242-37-2747

E-mail ofls@u-aizu.ac.jp

URL <http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport.html>

学生相談室 「大学での自分探し」

カウンセラー 林幸子／中田佑典 TEL 0242-37-2610 e-mail counseling@u-aizu.ac.jp

全入学時代を迎え、大学には、様々なバックグラウンドを持った方たちが集まっています。IT専門大学で学べるとあって、水を得た魚のように生き生きと専門知識と技術の習得に邁進する学生。数学や情報系の教員資格を目指し、教職課程をとりながら教師を目指す学生。課外活動はもとより学外での活動にも積極的に参加して幅広く自己研鑽を図ろうとする学生。多くが4年間で必要単位を修め社会に出るか院進学をはかる中、必ずしも当初の目標通り履修が進まない学生も出ています。

一般的に、大学は4年間と考えられています。しかし就職難もあって、卒業に4年以上の時間をかける学生も珍しくなくなり、会津大学も例外ではありません。高校まで、そして大学に入ってから順調に何の問題もなく、どちらかというと優秀で模範的な大学生生活をされてきた方が、4年間で卒業が難しいかもしれないと分かった時、本人も、そしてご家族もまず驚き、戸惑われるようです。そのような学生さんに何が起きているのでしょうか？理由は様々で一概には言えませんが、学生相談室でよくお会いするのは、それまでの生き方にどこか無理があって、それまでと同じ「順調」な歩みが続けられなくなった学生さんたちです。

そのような方にはもともと、辛いことや嫌なことがあっても弱音を吐かず、目の前のことにひたすら取り組む真面目タイプが多いようです。好き嫌いは別にして、与えられたものは何でもこなし成績も悪くない。対人関係にも特に問題はありません。同年齢が一度はやってみる道草や少し脇道に逸れるなどということもなく素直で優しい。どちらかというと優等生タイプです。実は、順調と見えていたのは表面だけで無理もあったのでしようが、困難にぶつかるとさらに頑張りますので、自由度が少なく生活上の選択肢が限定された高校まではそれでなんとか乗り切ってしまう。周りが気付かないのも無理はありません。

「モラトリアム」という言葉があります。定義はいろいろありますが、ここでは「自分探しの時間」ということでいいでしょうか。子供から大人への過渡期にある大学生時代。人間の価値観や考え方は、素質と相まって環境の中で育ち形づくられます。歩みが急に止まる・予想に反する言動を見せるようになったなどという学生の中に、自分とは相容れないながらも自分の中に取り込んでしまった価値観に支えられて生きてきた方がいます。自分の足に合わない靴を長年履き続け、成長したこともあってある時、履きなれたはずの靴に違和感を覚える、さらには自分のものでないことに気付く。そんな体験をしているとしたら、目標を見失う・自分が自分で分からなくなるなどということがあっても不思議はありません。

一度立ち止まり、必要な休憩もとりながら自分探しをする。一見、停滞や撤退と見えるモラトリアム期ですが、それは成長に必要な大切な時期かもしれません。いつもと違うことを急に言い出す、様子が変わったなどと思われる若者が身近にいたら、まわりの大人は、ポツリポツリと紡ぎ出される彼らの言葉にひたすら耳を傾けたいものです。

保 健 室

看護師 阿部さえ子 TEL0242-37-2517 saeko-a@u-aizu.ac.jp

保健室は怪我の応急処置、体調不良のための一時休養や血圧、体組成測定ができます。保健室利用内訳で一番多いのは体組成測定です。体組成測定時には体重および体脂肪率・脂肪量・筋肉量の推測値、BMIを記載した結果用紙を作成します。運動系サークルに所属している方の中には、定期的に測定して練習の効果を脂肪量、筋肉量で確認しています。その一人、仲村直博君はフライングディスク部に所属し、アルティメット東北リーグでの連覇を目指して仲間と練習を続けています。

また、トライアスロン部の山本健太郎君は、香川県で開催される全国大会に出場が決定しました。

救急救命講習会を開催

東日本大震災より1年が経過しました。時おり地震がありますが、例年通り新学期を迎えることができました。

今年度は学生の皆さんが、傷病者が発生した場合に、救急車が到着するまでに迅速かつ適切な処置を行い、AED(除細動器)を円滑に操作できることを目的として、会津若松消防署救急隊の方を講師に迎え、救急救命講習会を開催しました。運動系サークル12名、教員1名、計13名が心肺蘇生法およびAEDの使い方を学びました。



編集 後記

編集担当です。学生の大学での活動を中心に編集するように心掛けました。秋には、学生主催の蒼翔祭(学園祭)が10月6日(土)7日(日)の2日間にわたり開催されます。また、蒼翔祭に合わせて後援会では、10月6日(土)に大学報告会、就職講演会を実施致しますのでぜひご参加ください。

なお、来年度は開学20周年記念事業が実施されます。後援会としても盛り立てていきたいと考えておりますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。